



## 「技術のカツラ」はお客様満足から

### 株式会社 加貫ローラ製作所

代表取締役 加貫 順三 氏

創業110年の伝統と歴史を誇る同社。明治32年、加貫朝次郎氏が剣道の防具を作るための縫製技術を生業として個人商店を創業。その後明治40年頃、この技術を聞きつけた新聞社から印刷用革ローラの修理を受注。これが現在の日本を代表するローラ総合メーカー誕生の第一歩だった。

後に、二代目・加貫正三氏が国産第1号の印刷用ゴムローラを製造（特許：SK式ゴムローラ）。現在の事業基盤へと繋がっている。大正12年のことである。

ゴムの配合技術を生命線とする「技術のカツラ」。それを支えるのは顧客ニーズをひとつ残らず拾い上げる営業姿勢にある。加貫社長は「製品の配送はほぼ営業マンが担当する。そこでお客様から情報を頂き、開発に繋げる。その繰り返しが今日の当社の財産となっている」と語る。「お客様満足」から生まれた製品は現在、印刷用途に留まらず、工業用・産業用としても幅広く活躍し、最近高まる液晶などのフィルム系ゴムローラの需要にも応えているという。

#### 連絡先

〒544-0005  
大阪市生野区中川5-3-13  
電話 06-6751-1121 FAX 06-6754-4400  
e-mail info@katsura-roller.co.jp  
URL <http://www.katsura-roller.co.jp/>

110年にわたる企業の存続。そこに欠かせないものについて聞いてみた。「供給責任を自覚し、人・モノ・金を如何にバランス良く運用するかではないだろうか。自分自身も最も意識している部分である」（加貫社長）

「無限の可能性」を座右の銘とする五代目・加貫社長は、昭和20年2月28日生まれ、現在63歳。趣味については「下手なゴルフの他、写真や旅行、休日の散歩など。サウナに入って、何も考えずにポーとするのも結構好き」と話す。



## お客様に感動と成功を

### 株式会社桜井グラフィックシステムズ

執行役員 国内営業本部 副本部長 柴山 慶仁 氏

1928年、創業者・桜井隆三氏が東京日本橋で紙商をはじめたことにその歴史は始まる。同社前身の㈱桜井製作所設立は1946年。印刷機械の製造・販売会社として産声をあげ、以来、顧客第一主義に基づいて開発された製品は、世界60カ国以上で愛されている。

同社の強みは、世界で唯一、オフセットとスクリーンの技術を併せ持つ印刷機械メーカーであること。オフセット機事業では、主力の菊半裁およびB2判ワイド機に加え、昨年、同社初のオールインワン菊全判多色機「OLIVER-

96SDシリーズ」を発表し、注目を集めた。一方、シリンダータイプの世界トップシェアを誇るスクリーン機事業では、サーボドライブ駆動の採用で印刷枠の等速走行印刷を実現し、ストップシリンダー機でのストローク任意設定も可能にした「MAESTRO-102SD」を市場投入。工業用途での可能性を提示するなど、マーケットリーダーとしての先進性を見せている。また、昨年4月にはスクリーン印刷用UV乾燥機メーカーとして有名なイギリスのナットグラフ社と低温UV乾燥

#### 連絡先

〒532-0012  
大阪市淀川区木川東3-1-31  
電話 06-6308-6651 FAX 06-6308-6679  
e-mail osaka@sakurai-gs.co.jp  
URL <http://www.sakurai-gs.co.jp/>

機におけるライセンス生産契約を締結。サクライブランドとして生産・販売を開始している。

「環境」を一つの柱とする同社では一昨年、岐阜工場に太陽光発電システムを導入。さらに昨年末には総電力量320Kwへと増設を図り、全国有数規模となっている。

製品開発はもとより、顧客の新ビジネスモデル構築を支援する「Sakurai S-PAS」の展開、水なし印刷による環境対応推進など、「すべてはお客様とともに」という思いを形にした同社ソリューションに今後も注目したい。



## 明日への挑戦、お客様とともに…

### 三和製作株式会社

代表取締役社長 木下 博雄 氏

創業は戦後間もない昭和22年。当時瀬戸内海沿岸では塩田による製塩が盛んで、そこで使用する海水を汲み上げるポンプやシャワーノズルの製造が同社歴史の始まり。その後、高度成長に向けた鉄道事業に関わり、当時車両製造を手掛ける三菱重工三原製作所の協力工場として、駆動部分の特殊な部品を供給。これをきっかけに、紙・印刷機械分野に参入していくチャンスを得ることになり、事業を拡大、社歴を積み重ねてきた。

そして昭和58年、従来の「作る喜び」だ

けでなく「考える喜び」「売る喜び」を求め、自社製品として自動平盤打抜機を開発。そこで得た2つの「喜び」は技術開発への意欲として注がれ、短期間で中核事業へと成長を遂げる。

また平成17年には、段ボール専用自動平盤打抜機を三菱重工と共同開発。打抜機事業は現在、主力事業となっている。

さらに昨年のIGASでは、特殊給紙方式により、より紙に優しい搬送を実現することで精度を高めた「アクシア」シリーズを発表し、

#### 連絡先

〒729-0111  
広島県福山市今津町6-16-2  
電話 084-934-2022 FAX 084-934-7117  
e-mail sales1@sanwa-trp.com  
URL <http://www.sanwa-trp.com/>

反響を呼んだ。「当社の基盤は、三菱重工殿との取引で鍛えられた品質、納期、価格管理のノウハウ。まぎれもない財産である」（木下社長）

また、もう一つの事業の柱としてIT関連装置や破砕機など、各種産業機械のトータルエンジニアリングがある。これについて木下社長は「経営資源の選択と集中は必要だが、一事業に偏りすぎることは疑問である。総合バランスを求め、挑戦を続けたい」とし、新しい技術探求へのこだわりを語っている。